

特 集

＜ハイテク推進セミナー＞

次世代エネルギー社会のあるべき姿 ～ 今 水素が面白い ～

主催 一般社団法人 生産技術振興協会
共催 一般社団法人 大阪大学工業会
後援 NEDO、近畿経済産業局、大阪商工会議所、NPO法人 エコデザインネットワーク



開会挨拶

＜生産技術振興協会 理事長 伊東一良＞

皆さん、おはようございます。生産技術振興協会の理事長を務めております、大阪大学の伊東と申します。本日は多数の方々においでいただきまして、ありがとうございます。今回のハイテクセミナーは「次世代エネルギー社会のあるべき姿、今水素が面白い」というタイトルで開催致します。非常に魅力的なテーマであります。6名の先生方に講演していただき、朝から夕刻までの長時間となりますが、ぜひ講演の中身をお楽しみいただいて、皆さん方の次のお仕事の局面でうまく活用していただければと思っております。

本セミナーの主催団体であります生産技術振興協会は、戦後間もない1949年、昭和24年に財団法人として発足、今年で64年目という長い歴史を持っております。その中で「生産と技術」という技術関係の機関誌を年4回発行いたしており、主に大阪大学の先生方の研究の情報を大阪の企業に伝え、地域の産業振興を図るという目的の事業でありまして、全国の公立図書館へはご希望に応じて送付するなど、全国的な発信もしております。それ以外にセミナー、

技術交流会、また大阪大学の学生さんが国際会議に出る場合に旅費を交付しているほか、工業技術専門学校からアイデアを募集したコンペも今年からスタートしました。本協会は、今年4月から一般社団法人として再スタートをいたしました。今後とも当協会の活動に対し、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

今回のセミナーのテーマは「水素」です。燃えたら水になる、言い換えますと酸素と結合すると水になる、ということは私たちも理解しているのですが、それを大量に貯蓄し、輸送するにはどうするのか。水素が材料に対して、どのように影響するのか、特に高圧の水素では様子が変わってくると言われています。こうしたことに、我々はまったく理解が及んでいません。本日は、そうした日頃とは違った方面からのお話を6名の先生方に語っていただきます。エネルギー問題といいますと、日本にとっては非常に大事なことで、ある意味では死活問題にもつながってきます。本日はこれらをじっくり勉強いたしまして、セミナーの成果がぜひ皆様方のビジネスに役立つようお願いいたしまして、開会のごあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。